

様式第9号

先進医療を実施可能とする保険医療機関の要件として考えられるもの

先進医療名及び適応症：ロボット支援腹腔鏡下腎部分切除術／腎癌	
I. 実施責任医師の要件	
診療科	☒ (泌尿器科) ・不要
資格	☒ (日本泌尿器科学会認定泌尿器科専門医) ・不要
当該診療科の経験年数	☒ (5) 年以上 ・不要
当該技術の経験年数	☒ (1) 年以上 ・不要
当該技術の経験症例数 注1)	実施者〔術者〕として (10) 例以上 ・不要 [それに加え、助手又は術者として () 例以上 ・ ☒ 不要]
その他 (上記以外の要件)	
II. 医療機関の要件	
診療科	☒ (泌尿器科) ・不要
実施診療科の医師数 注2)	☒ ・不要 具体的内容：日本泌尿器科学会認定泌尿器科専門医 2 名以上
他診療科の医師数 注2)	☒ ・不要 具体的内容：麻酔科標榜医
その他医療従事者の配置 (薬剤師、臨床工学技士等)	☒ (臨床工学技士) ・不要
病床数	☒ (100 床以上) ・不要
看護配置	☒ (10 対 1 看護以上) ・不要
当直体制	☒ (有り) ・不要
緊急手術の実施体制	☒ ・不要
院内検査 (24 時間実施体制)	☒ ・不要
他の医療機関との連携体制 (患者容態急変時等)	☒ ・不要 連携の具体的内容：患者容体急変時の処置。ただし、自施設で対応可能な場合は不要。
医療機器の保守管理体制	☒ ・不要
倫理審査委員会による審査体制	審査開催の条件：臨床研究に関する倫理指針に従っていること
医療安全管理委員会の設置	☒ ・不要
医療機関としての当該技術の実施症例数	☒ (10 症例以上) ・不要
その他 (上記以外の要件、例；遺伝カン セリングの実施体制が必要 等)	
III. その他の要件	
頻回の実績報告	要 (月間又は 症例までは、毎月報告) ・ ☒ 不要
その他 (上記以外の要件)	

注1) 当該技術の経験症例数について、実施者〔術者〕としての経験症例を求める場合には、「実施者〔術者〕として () 例以上 ・不要」の欄を記載すること。

注2) 医師の資格 (学会専門医等)、経験年数、当該技術の経験年数及び当該技術の経験症例数の観点を含む。例えば、「経験年数〇年以上の△科医師が□名以上」。なお、医師には歯科医師も含まれる。